



### 3.生活について

#### I.住居

(1)住居の種類  寮 (寮名: Cobden, Canterbury Court, Victoria Park)  
 アパート  ホームステイ  その他 ( )

(2)シェア人数 9 人 (3)共有部分  バス  トイレ  キッチン (4)自炊  可  不可  
(自分は除く)

(5)大学までの交通手段と所要時間 (6)個室の有無  有  無  
 徒歩  バス・電車  自転車 25 分

(7)住居申込方法・時期 ( 4月中旬に大学からメールが届き第5希望まで寮を選択し、抽選で決まる )

(8)住居について困った事やアドバイス及びルームメイトについて(国籍や良かったこと、困った事)

名目上は抽選だが早い者勝ちな風習もあるため、手続きは早めに行うべき。日本人の感覚からすると、初めのうちは共用キッチンの汚さに驚くが慣れれば問題ない。

#### II.食事

(1)毎日の食事についてあてはまるもの全てに✓  
 自炊  寮食  大学内学食  外食  その他 ( )

(2)ミールプラン  有  無 月額(現地通貨) (日本円約 円)  
平日【  朝  昼  夜 】 週末【  朝  昼  夜 】

(3)最寄りのスーパーやマーケットまでの所要時間  
 徒歩  バス・電車  自転車 15 分

(4)食事について困った事やアドバイス

物価が高かったため商品の値段が安いスーパーを見つけるのには苦労したが、少し工夫すれば確実にミールプラン等より節約できる。

#### III.インターネット環境

(1)住居  有  無  
(2)キャンパス  有  無 (  キャンパス全体  接続スポット )  
(3)個人契約  有  無

ある場合は契約内容について(契約会社、契約方法など)

(3)外出先でのインターネット利用  有  無  
ある場合はその利用方法について(カフェやお店の無料Wi-Fiなど)

Threeという日本でいうSoftbank, auという会社でPay as You Goプラン(使ったデータ量の分だけ支払う)のSIMカードを購入。ヨーロッパ内なら基本的に使えるので休暇中の旅行等にもおすすめ。

(4)携帯電話利用について  日本の携帯を持参  現地購入  使用していない  
その利用方法について(契約会社、契約方法、費用など)

同上

### 4.留学先大学について

#### I.大学の周辺地域

(1)治安  良い  普通  あまり良くない  悪い  
注意すべき点

夜は基本的に一人で外を出歩くべきではない。救急車・パトカーのサイレンを聞かない日はない。

(2)交通の利便性  良い  普通  良くない

(3)主な交通手段  電車・地下鉄  バス・トラム  自動車  その他 ( )

(4)都市部(繁華街)までの所要時間 20 分 (交通手段:バス(徒歩では40分ほど))

(5)交通手段に関して注意すべきことやアドバイス

タクシーはぼったくりの可能性もあるので信用していなかった。基本的に天気の悪い街なのでバスも日中は混んでいる印象。徒歩で十分移動できた。

(6)よく利用した買い物やレジャー、医療機関など周辺施設について

自炊の材料等、日用品はキャンパス内の店でどうにかなる。市の中心部にあるショッピングセンターへ行けば全てのモノが手に入る。留学初期はよく行っていた。

## II. 授業

(1)履修登録の時期・方法  出発前  出発後  派遣先大学国際室  オンライン  メール等  
 その他 ( )

(2)履修の制限

2ターム併せて100~120単位(各ターム50~60単位)という制限あり。語学要件さえ満たしていれば基本的にどの学部からも授業をとれる。

(3)授業・履修登録で困ったことやアドバイス

とにかく、履修登録期間中(特に1ターム)は手続きは早めに終わらせる。後回しにしない。大学側もかなりサポートしてくれるがそれに甘えないよう。

(4)語学研修(学期前・学期中)を受けていれば、期間・内容・費用について

7月下旬から9月上旬にかけて6週間(30万円ほど)。ほかにIELTSスコアによって3週間コースと10週間コースがある。4技能をどう大学生活の中で使うかを学ぶ。

(4)履修科目

	科目名	授業の言語	出席人数	単位数
1	科目名 Fundamentals of Management 授業内容/履修学期 1ターム/経営学の基本を学ぶ。すべて講義形式。Kahoot!など生徒が参加できる仕組みが整っていた。	英語	約 150 名	10 単位
2	科目名 Fundamentals of Finance 授業内容/履修学期 2ターム/ファイナンスの基本を学ぶ。約10回の講義と、3回のワークショップ(計算問題の解説)。	英語	約 150 名	10 単位
3	科目名 Business Economics 授業内容/履修学期 2ターム/経済学の基本を学ぶ。すべて講義形式。	英語	約 50 名	10 単位
4	科目名 Managing Business Operations 授業内容/履修学期 1ターム/マネジメントの大きな話というよりは、工場など生産段階でどのような工夫が施されているかを勉強。	英語	約 30 名	10 単位
5	科目名 Chinese Business 授業内容/履修学期 1ターム/中国でのビジネスを学ぶ。講義とプレゼンテーション。	英語	約 30 名	10 単位
6	科目名 Work Psychology For Career Success 授業内容/履修学期 1ターム/実際の職場で、どのような心理的な問題があるのかを学ぶ。講義とプレゼン。	英語	約 30 名	10 単位
7	科目名 Technology, Strategy, Innovation 授業内容/履修学期 2ターム/生活の中に存在している技術や企業の戦略、それら変遷について学ぶ。講義とプレゼン。	英語	約 30 名	10 単位
8	科目名 Global Contexts of Business and Management 授業内容/履修学期 2ターム/世界経済がグローバル化によってどう影響を受けてきたのかを学ぶ。講義とセミナー(ディスカッション)。	英語	約 40 名	10 単位
9	科目名 Marketing 授業内容/履修学期 1ターム/マーケティングについて学ぶ。3レベルある同授業の中で最高学年向けの授業を履修。	英語	約 100 名	10 単位
10	科目名 Investment Economics and Innovation 授業内容/履修学期 2ターム/1つの事業がどのように組み立てられるのかをよりリアルに学べる。詳しくは下へ。	英語	約 30 名	10 単位

(5)履修して良かった科目 ※記入欄が不足する場合は追加してください。

科目名	Managing Business Operations
理由	日本の企業も登場し、より生活に近いところで学べたから。
詳細 (課題、試験等)	この授業は先生が厳しいこともあり特に苦勞した。一つ一つの授業の内容も多く、テスト前には缶詰め状態だった。ただ、生産過程の中でどのような工夫がなされているか、とくに日本企業(TOYOTA等)の戦略には日本人であることが誇らしくなるほど感銘を受けた。
科目名	Global Contexts of Business and Management
理由	埼玉大学で所属しているGYとの関連性を見いだせたから
詳細 (課題、試験等)	グローバル化が主題のこの授業で、GY生としての視点から学べたのは有益だった。授業内では他生徒とディスカッションをする機会も多く、視野が広がった。
科目名	Investment Economics and Innovation
理由	よりリアルに近い事業計画を学べたから。
詳細 (課題、試験等)	この授業では、実際に自分で1つの事業を計画し、どのように営業していくのかをファイナンスの視点も含めて考察する。今回の留学の中で一番大変だったが、世の中をさらに知る良い機会となった。

### Ⅲ. 課外活動

- (1)課外活動への参加  有  無  
 (2)イベントへの参加  有  無

有る場合はクラブ名、イベント名と活動内容を記入

大学のハンドボールクラブに所属していた。今回の留学で出来た知り合いの約半数はそれがかきつけで、遠征や試合等にも参加してかなり仲良くなった。その他、日本語を学ぶ現地学生の授業へ参加したことで知り合いも増え、文化交流もできた。

### Ⅳ. 施設・設備

- (1)学食・カフェテリア  有  無 多数 箇所  
 (2)スポーツ関連施設  有  無 具体的に (キャンパス内には大きく2つ。ほとんどのスポーツはそこで出来る。)  
 (3)ライティング・センター等履修サポートサービス  有  無  
 (4)その他お勧めの施設・設備  
日本食や日本の調味料が売っている店も。値段は高かったが、自炊を大いに助けてくれた。  
 (5)現地学生との交流機会  満足  やや満足  やや不満  不満  
 そう感じた理由を教えてください。

とくにハンドボールクラブでの交流は、ノンバーバルなコミュニケーションを通して交友関係が広がったので、何か1つスポーツをやるのはおすすめ。

### Ⅴ. お金の管理

- (1)お金の管理方法  現地銀行口座  インターナショナルカード(国際キャッシュカード)  クレジットカード  
 海外専用プリペイドカード(キャッシュパスポート等)  デビットカード  現金  
 その他 ( \_\_\_\_\_ )

不便だったこと・お勧め方法等アドバイス

現金はほとんど使う機会が無い。HSBC等で口座を作れる機会を到着後すぐに大学が作ってくれるのでそれを利用してデビットカード等を作り、その口座に現金を振り込むといい。また、奨学金等の報告で支払いの内訳を聞かれると思うので、何にいくら使ったのかは記録するべき。

## 5.費用について

### I. 留学にかかる費用

※コロナウィルスの影響により早期帰国しているため、参考程度としてください。

	内容詳細	期間(ヶ月)	月額	総額(円)	支払方法
渡航準備	往復航空券・燃油サーチャージ・空港使用料	-	-	¥ 204,234	カード
	学研災付帯海外留学保険	-	-	¥ 95,780	現金
	現地保険(留学先国・大学指定)	-	-	¥ 63,450	カード
	パスポート・ビザ申請料	-	-	¥ 80,088	カード
	語学研修代(総額)	2ヶ月	-	¥ 401,910	カード
	予防接種代	-	-		
	その他(持参金・スーツケース・引っ越し)	-	-	¥ 161,120	カード
現地費用	宿舍費(月額)	7ヶ月	¥88,509	¥ 619,563	カード
	光熱水費(月額)			¥ -	
	食費(平均月額)	9ヶ月	¥45,000	¥ 405,000	カード
	携帯料金(月額)	9ヶ月	¥3,000	¥ 27,000	カード
	インターネット料金(携帯以外)(月額)			¥ -	
	交通費(平均月額)	9ヶ月	¥4,300	¥ 38,700	カード
	テキスト代、研究費用、学用品(総額)	-	-	¥ 9,521	カード
	日用品(平均月額)	9ヶ月	¥17,700	¥ 159,300	カード
	娯楽費(平均月額)	9ヶ月	¥5,000	¥ 45,000	カード
	旅行(総額)	-	-	¥ 140,000	カード
	Registration/Administration Feeなど 留学先支払手数料(総額)	-	-		
	その他( )				
	その他( )				
	合計			¥ 2,450,666	

### II. 奨学金について

奨学金名	期間(ヶ月)		月額(もしくは総額)	申請方法
業務スーパージャパンドリーム財団法人	10ヶ月間	<input checked="" type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額	¥150,000	国際室
		<input type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額		
		<input type="checkbox"/> 月額 <input type="checkbox"/> 総額		

## 6. 留学全般について

### I. 留学先

(1)なぜ留学しようと思いましたか？そして、いつ頃留学することを決めましたか？

留学前から留学はしたいと思っていたが、はじめの動機はただ海外で勉強したいという不純なモノだった。

(2)留学先大学を決めるにあたり、参考にしたものを教えてください(例:各協定校のHP,先輩の話,交換留学報告書等)

交換留学報告書や、1年前に行かれてい先輩からのアドバイス等は大いに参考になった。

(3)留学申請に必要な語学スコアの向上方法を教えてください。

とにかく英語を使う。インプットとアウトプットのバランスが大切。

(4)なぜ最終的にこの国、この大学に決めましたか？

昔両親が働いていたこともあり、イギリスは留学先としてある種ブランド化していたところはある。

(5)留学先としてこの大学をお勧めするポイントをあげてください

世界的に見ても高いアカデミックレベル、語学研修等の充実したサポート体制は留学生の現地への順応を大いに助けてくれる。

### II. まとめ

留学を通して学んだこと、大変だったこと、留学希望者へのアドバイスなど自由に記述。

上記のアンケートで書ききれなかったことなど、たくさん記載してください。

留学前、私はとても甘い考えの持ち主でした。すべてを書くとき長くなるので省略しますが、簡単に言えば「留学に行きさえすれば自分は成長できる」と思い込んでいました。英語もペラペラになるし人としても成長できると思い込んでいました。しかし、それは大きな間違いです。なぜなら留学先でやろうとすることは日本にいても十分出来るからです。構内には外国からの留学生も多く交流の場が持てます。英語の文献も自分で探せばある程度集まります。たとえ留学に行ってもそこに自分の努力が伴わないことにはなにも変わらない、変えられないということに気づいていなかったのです。

そのような考えを持っていた自分は、渡航前からしじりを繰り返しました。ビザの手続き等、必要なことをゼミの忙しさを理由に後回しにし、両親や、奨学金審査等でかなりお世話になった国際室の方々にも心配をかけました。異国の地で約1年間生活するという重大さが分かっていなかったんだと思います。留学生在活がスタートしてから金銭面のことで両親に迷惑をかけ続けました。

そのような失敗をし続けて、周りのひとに迷惑をかけ続けてようやく、自分がいかに甘い考えを持っていたかということに気づきました。そこからの留学生活は、自分の意識が変わっていったのを覚えています。大人としてのまっとうな感覚をこの留学を通して学びました。留学がなかったらこの成長があったかどうかは分かりませんが、この留学を通して人間として成長できたことについては胸を張れます。

少々暗い内容を書きましたが、私の成長に現地での生活や交流が大きく関係していることは確かです。特に、所属していたハンドボールクラブでの交流は思い出に残っています。練習・練習後のパブ・試合等を通して培った交友関係は一生の宝物です。大学の授業でも、今までいかに自分がいわゆる「受け身の勉強」を続けていたかを思い知らされました。また、履修していたビジネススクールでの授業は自分が社会に出た後をイメージする良いきっかけにもなりました。

周りにかけた迷惑は計り知れないものでしたが、その分成長させてもらえたと思っています。両親や国際室の方々には本当に感謝しています。これを読んでいる方に私があまりとやかく言える権利はありませんが、1つだけ伝えたとしたら、それなりの覚悟を持って留学に臨んでほしいなと思います。それが留学に限らず何をやるにも必要なことだし、私に足りていなかったものです。留学は意外とあっというまに終わってしまいますよ。頑張ってください。応援しています。

